

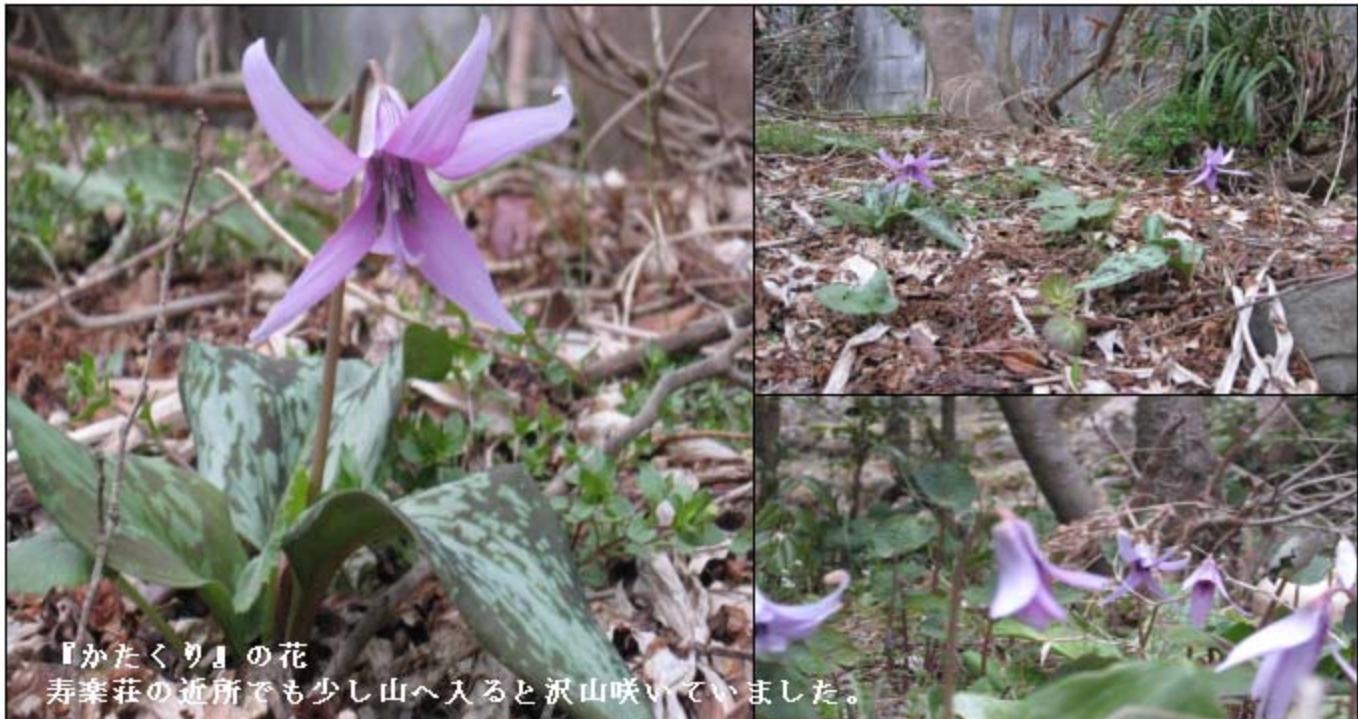


寿楽荘だより

発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 寿楽荘
編集：広報委員会

〒198-0213 東京都西多摩郡奥多摩町海澤497
TEL 0428-83-2338 FAX 0428-83-3705
URL <http://www.futabakai.or.jp>
e-mail jyurakusou@futabakai.or.jp

第40号



社会福祉法人双葉会事業計画

I.目標

社会福祉法人の果たすべき固有の役割は、地域特性をよく認識してその公益性を自覚して、地域に分かりやすい連携したサービスの提供を發揮することにある。

そのような状況に法人は、以下の計画を指針として各施設が地域拠点となりうるよう検討し対応に取り組んでいく。

尚東北太平洋沖地震の側面支援（利用者受け入れ、介護支援等）と地震緊急対応を各施設で検討する。

II.計画

- ①役員地域分担制の継続（地域拠点法人組織）
- ②地域高齢者対応（40%高齢化対策としての施設受け入れ）
- ③保育体制検討（幼保一元化等今後の保育施設の将来展望）
- ④職員個々能力の向上（専門知識の高度化、技術向上〈スキルアップ〉と専門知識の啓蒙活動）
- ⑤琴清苑全面改築事業（安全・安心老朽化施設対応）
- ⑥介護給付金一律支給の継続
- ⑦地震対策

以上7点を重点項目として計画推進。



寿楽荘事業計画

I. 基本方針

政治の変わらぬ芯のなさによる不信感、子供や高齢者に対する虐待、親の死亡隠蔽や年金詐取など一人ひとりが生き方のありようを問われている。そのためにも福祉の基本である3つの心『三聚淨戒（さんじゅじょうかい）』を忘れずにサービスを徹底する。

第一 摳律儀戒（しようりつきかい） 人の道をまもるつつしみ

第二 摳善法戒（しようぜんぼうかい） よきことをよろこぶ心

第三 摳衆生会（しようしゅじょうかい） 人のよろこびを、わがよろこびとする心

改めて心に念じ実践することが福祉の具現化であろう。そのために一番簡明なことから今年は行う。それは「傾聴」することである。第一に利用者の方々、ご家族の方々の意見をひたすら聴くことから始め人間関係の構築をさらに強めていきたい。その上でサービス提供を徹底する。

尚、東北太平洋沖地震に鑑み対応策を各職種で検討し、安全安心に尽くす。

II. 計画

- ①法人計画目標の達成（定員の97%・ショート98%）
- ②寝具一式交換の委託事業の継続（人的配置及び人件費の削減）
- ③安全対策設備投資（入浴機器等の安全面設備購入）
- ④自立と尊厳ある生活支援（傾聴による生活支援）
- ⑤研修による情報公開と職員の能力向上（スキルアップ）
- ⑥職員増による充足したサービスの提供（毎日を満足〈充足〉して暮らしていただく）
- ⑦感染症対策の徹底（インフルエンザウイルス・ノロウイルス等流行性感冒への対策として、常勤医師による感染症対策の徹底）
- ⑧地震対策と節電・節水の励行
- ⑨東北太平洋沖地震の側面援助（適宜対応）
- ⑩ホームページへの施設内要の記載（方針・設備・契約要綱等、施設の理解を深めていただくため）

各計画を安定運営、利用者の安心感、安全性を第一に考えて各種事業に当たっていく。

資金収支当初予算

平成23年4月1日

勘定科目		予算合計（円）
経常活動	経常活動収入計（1）	791,191,000
	経常活動支出計（2）	763,163,000
	経常活動資金収支差額（3） = (1) - (2)	28,028,000
施設整備	施設整備等収入計（4）	0
	施設整備等支出計（5）	4,630,000
	施設整備等資金収支差額（6） = (4) - (5)	-4,630,000
財務活動	財務活動収入計（7）	21,670,000
	財務活動支出計（8）	41,900,000
	財務活動資金収支差額（9） = (7) - (8)	-20,230,000
予備費（10）		3,168,000
当期資金収支差額合計（11） = (3) + (6) + (9) - (10)		0
前期末支払資金残高（12）		452,634,459
当期末支払資金残高（11） + （12）		452,634,459

目 常 生 活 ・ 行 事 活 動 状 況



1月15日
『羽黒三田神社囃子振興会』
の皆様によるお囃子の慰問
正月の雰囲気を利用者の方々
に味わって頂きました。



2月9日・3月8日
『氷川小学校児童による慰問』
利用者の方々も一緒に
歌を唄ったりと楽しい時間
を過ごしました。



3月10日
『活花』
参加された利用者の方々
楽しんでいます。



『3月
彼岸供養
』



本広報誌に記載しております、お名前・写真につきましてはご本人、若しくはご家族より承諾を頂いた上で掲載しております。

ご面会の皆様へお願ひ

飲食物を持参される場合は、ご本人以外の利用者へ飲食物を配ることは下記の理由によりご遠慮願います。

- 1、利用者によっては糖尿病等の疾患により、食べ物制限・塩分制限等の制限があります。
 - 2、飲み込みが不自由な利用者が居られ注意が必要です

飲食物を持参された場合はその旨、職員にお声掛け下さい。

また、その場で食べきれない分は居室に残さず職員に預けて下さい。

皆様のご理解ご協力を
お願いいたします。



土・日・祝日の面会について

迎え時間 午前11時25分（奥多摩駅発）

送り時間 午後 1時50分（寿楽荘発）

上記の送迎時間中は事務職員が留守になることがあります。

ご用の方は各フロアの施設職員へ、お声掛け下さい。

編委員紹介

広報委員長
　　村木事務長
編集委員長
　　清水介護主任
編集委員
　　青木栄養士
　　池田事務主任
　　坂本介護主任
島崎事務長
中村介護主任
牧野介護主任
牧野看護主任
三富介護主任
(編集委員会五十音順)

※ 上記委員により今後も寿楽荘たよりは定期的に刊行される予定です。

利用者ご家族の住所変更等で連絡
先変更の際には 寿楽荘 まで、ご
連絡をお願いいたします。

・・・・・
活花 ビアガーデン
供養 バス

4月	・花祭り(降誕会) ・花見ハイク
5月	・花見会 喫茶
6月	・母の日 ・買物バス ・マス釣り
7月	・父の日 ・あじさい会 喫茶 ・買物バス ・夏物衣料品訪問販売会



今後の行事予定